

【2024 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等		
ボランティア活動の実際	HLA11-031	選択	1	1.2	通年 (集中)		
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー				
粕山 達也	D311	kasuyama	火曜日 14 : 30 ~ 16 : 00				
授業の目的・概要	本人の自発的なボランティア活動を通して、自分の社会的な経験や社会関係の幅を広げること。また、ボランティア活動を通じた様々な出会いによって自らを振り返り、将来の仕事やライフワークとする活動、自身が成長していくために必要なことについて気づきを得ることを目的とする。本学学生サポートセンターにボランティア登録し、情報を得ながら自分の参加したいボランティアを見つける。年間 30 時間以上のボランティアに参加し、活動記録および活動報告書を作成し提出する。						
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()						
学習上の助言	自ら積極的にボランティア活動に参加し、多くの活動と経験を重ねることで社会に必要とされる優れた資質や能力を身につけてほしい。本講座の受講を推奨する。						
教科書	特に使用しない。						
参考書	特に指定しない。						
外部教材	特になし。						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針			
①	ボランティアの理念、意義を理解し説明できる。			HSU (1)、(2)			
②	ボランティア活動を通じて地域社会が抱えている課題に向き合うことができる。			HSU (1) ~ (5)			
③	ボランティア活動を通じて高い倫理性と豊かな人間性、また社会人基礎力を身につけることができる。			HSU (1) ~ (5)			
④							
⑤							
⑥							
授 業 計 画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)				
1	オリエンテーション ボランティア活動の基本理念・歴史・社会的意義などの基本的な知識を学ぶ。	講義	本授業の履修動機の明確化。	2			
2	本学のボランティア活動支援の体制 ・学生サポートセンターの役割 ・ボランティア活動の参加方法	講義	ボランティア活動に参加する際のマナーや本学での手続きについて確認する。	2			
3~7	ボランティア活動に参加する。	実習	通年で数回、15 時間を超える活動が必要。				
8	中間報告会	グループワーク	夏季休暇までの参加ボランティアについて報告する。	5			
9~14	ボランティア活動に参加する。	実習	通年で数回、15 時間を超える活動が必要。				
15	ボランティア参加報告会	発表会	報告されたボランティア活動の内容を踏まえ、自分にとってのボランティア活動の経験を振り返る。	6			
試	レポート						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	50	50	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	15	15	0	0	30
問題を発見・解決する力	0	15	15	0	0	30	

【2024 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

		評価のポイント		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標				
試験	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
レポート	①	✓	ボランティア活動に参加して考えたこと、活動から学んだことに基づき、活動を総括する。	コメントをつけて返却する。	
	②	✓			
	③	✓			
	④				
	⑤				
	⑥				
成果発表	①	✓	各学生がボランティア活動での体験を報告し合い、得た知識や学びをクラスで討論する。	各学生の中間報告会、最終報告会でフィードバックする。	
	②	✓			
	③	✓			
	④				
	⑤				
	⑥				
ポートフォリオ	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
その他	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
備 考					
他 担 当 教 員	なし				
教員の実務経験	理学療法士（臨床経験 17 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 11 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 17 年、資格取得後 7 年）				
実践的授業の内容	本科目にふさわしいボランティア活動について、事前に内容や役割を把握しておく。必要な準備は必ず行ってからボランティアに参加する。ボランティア終了後は必要書類を作成し、自身の行動を振り返り、ボランティアの意義を考え、さらに今後に向けてどう行動していくか考える。				
そ の 他	≪注意点≫ ・本科目のボランティア時間数に認められるのは、学生サポートセンターで把握している活動のみとする。 ・自分が情報を得て参加したいボランティアがある場合は事前に担当教員に相談、報告する。 ・活動中の事故やトラブルは必ず担当教員に相談、報告する。 ・ボランティアに参加する際は、主催者および指導者の指示に従うこと。 ・教員は、原則として同行しない。				